

2015/9/18

国際 VHF 免許講習会 開催の予告

【第二級海上特殊無線技士・養成課程】

HMYC 通信安全委員会

海上における通信手段として国際 VHF の有効性は疑いのないところですが、携帯電話に比べると従事者免許が必要だとか、開局の手続きが煩雑など二の足を踏んでおられる方が多いかと思えます。相模湾の真ん中で、他の船舶との通信を確立するのに、普及の状況を考えると現状では国際 VHF が最も適した機器と考えます。あつてはならないことですが、事故・怪我など万一の場合、僚船、海上保安庁などとの通信が確保出来ますし、過去に迅速な救助に功を奏したこともあります。

加えてカテゴリー3で規定されるヨットレースに参加するために、国際 VHF を搭載する場合は25W 機が必要で、操作には「第二級海上特殊無線技士」の資格が必要です。*1

JSAF の海岸局に登録すると、71ch と 74ch も使用可能となりますし、パールレースなど様々なレースで国際 VHF は利用されています。また、HMYC でも今年からクラブレースで国際 VHF を積極的に活用することとなりました。レース運営だけでなく、リコールやショートニングの情報を入手するためにも、国際 VHF は役に立ちます。

5W のハンディ機だけでも非常に便利です。どんなに近場のセーリングでも、艇には国際 VHF を搭載されることを強くおすすめいたします。

HMYC 通信安全委員会は、25W までの国際 VHF を操作できる資格「第二級海上特殊無線技士」の養成課程講習会の開催を予定しております。この講習会を受講し、終了すると第二級海上特殊無線技士の資格を取得することが出来ます。*2 *3
この機会にぜひ受講をされますよう、ご案内申し上げます。

*1 JSAF 外洋特別規定カテゴリー3 モノハル 3.29.1(b)

*2 養成課程終了の条件は所定の授業科目及び授業時間を完全に満足し、終了試験に合格する事です。無線工学 5 時間、法規 8 時間。

*3 海特 3 級保持者のステップアップ講習会ではありません。

第二級海上特殊無線技士・養成講習会 開催予告

日 時: 2015 年 12 月 5 日、6 日 9:00～
場 所: 葉山新港(予定)
定 員: 30 名(予定)
申込期間: 2015 年 10 月 5 日～ 定員になり次第
申込方法: 別途申し込書類を準備いたしますので、整い次第ご案内いたします。
受講料: 25,000 円(予定)(テキスト、免許申請料を含む。HMYC 会員以外は 27,000 円)
その他: ・申込期間は 10 月 5 日からを予定しておりますが、定員になり次第受付終了の予定ですので、参加表明(事前登録)をメールをいただければ幸いです。

現段階でまだ未定の項目がございますが、まずは 12 月 5 日 6 日の予定表にチェックを！

問い合わせ先 HMYC 通信安全委員会 scc@hmyc.or.jp
委員長 大野富里
委員 金子、飯沢